

第50回愛媛県教育会俳句募集入選句

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

吉田 博子先生選

一般の部

投句者 52名 投句数 99句

吉田 晃先生選

特選

帰り来よ鱒も旬の伊予なれば

新居浜市 永易まるみ

(評) 子を思う親心が「帰り来よ」であり、ふる里への深い愛着が「鱒も旬の伊予なれば」である。伊予は所帯を持ち、子どもを育て、家族が喜怒哀楽を共にし、幸せを育んできた有難い場所なのだ。愛するふる里で子どもを育てた親の喜びが思われる。

優秀

鉢巻に朱き神紋豊の秋

松山市 高須賀真美子

山里の真つ只中の銀杏降る

松前町 高橋 智茂

佳作

孫が来て娘が来て西瓜真二つ

松山市 野尻 精一

栗を剥く指に渋灰汁めり込ませ

松山市 小坂 三国

戯れてシロツメクサのこぼれ舞う

伊予市 灘岡 雅人

余命知る姉の笑顔や秋寂し

松山市 渡部タズヨ

廃校の古木に笹黄落期

松山市 十亀 義則

恙無き日々を重ねて栗ご飯

松山市 米田智恵子

擦り光る考の鋏の柄冬耕す

松山市 浜田 邦雄

黍嵐城の鬼門に子規の句碑

松山市 沢田 美文

筆無精詫びしメールや漱石忌

松山市 青野 郁恵

秋祭児等呼ぶ太鼓の幣白し

松山市 池田 容子

特選

余命知る姉の笑顔や秋寂し

松山市 渡部タズヨ

(評) お姉さんは病氣療養中だろうか。食が細く気力も少し衰え気味なのだが、余命の短い事や将来の不安等を笑顔で口にする。でもそんな笑顔の真意を察し、複雑な想いで心を痛める作者。「秋寂し」が効いている。

優秀

豊かなる大和言葉や文化の日

松山市 吉村満喜子

おかはりにお焦げのにはひ茸飯

松山市 高橋 豊子

佳作

羊水のやうな日だまり日向ぼこ

松山市 中城 繁子

夕暮れの汽笛は長く冬に入る

松山市 徳吉 由美

葉桜や雀百羽の集会所

松山市 児玉 富子

つつましき里の暮しや柿熟るる

松山市 米田智恵子

擦り光る考の鋏の柄冬耕す

松山市 浜田 邦雄

秋夕焼け影を濃くして漁舟

松山市 能田よし子

にこにここと双子二組七五三

松山市 近藤 義久

惜しげなく彩を尽くせり散紅葉

松前町 高橋 智茂

岐阜提灯吊りて座敷の広さかな

新居浜市 中原 佳子

時雨るるやナイトクラブの窓灯

松山市 青野 郁恵

ジュニアの部

応募校 53校 投句数 1,435句 (校名下の数字は学年)

池田 尊之先生選

特選

姉帰省犬にも告げる母の声

三津浜中2 新岡 樹

(評) 娘が帰省した母の喜びが「犬に告げる」ということでよく伝わってきます。そして一番うれしいのは作者なのでしょう。

選者紹介



俳誌「水煙」元同人会長
吉田 晃

元中学校長
元日本学生俳句協会愛媛事務局長
松山市在住



俳誌「泉」編集委員長
吉田 博子

元中学校長
愛媛県俳句協会理事
松山市在住



俳誌「泉」同人
池田 尊之

元小学校長
松山市在住



子規顕彰松山市
小中高生俳句大会選者
大久保 礼子

松山市立余土小学校長
松山市在住

優秀

弟が最後の花火かくし持つ
はざかけの向こうもひびく笑い声
皴深き祖父の横顔草紅葉

往原小5 平岡 春華
八幡市小6 新地 巧
今治市南中3 津吉倫太郎

佳作

はねおれたせみをやさしくてのひらに
さかなつりパパのおとなりなつのうみ
こわいけどひつくりかえったせみにがす
バッテリーグーいのほりまでとんでいけ
せのびして見たい見えないつばめのす
妹が手でつかまえたシジミチヨウ

味酒小1 平尾陽加里
余土小1 遠山 泰輝
桑原小2 谷川 拓海
梶野小2 松本 りん
仕七川小3 中家 圭梧
道後小3 新谷 千咲
湯築小4 三好 皓太
広田小4 松本 心春
河辺小5 梅木葉々子
石井小6 岸 寛生
船木小6 伴野 詩
小野中1 上田 結花
愛宕中1 大西 由真
垣生中3 村上 歩美
重信中3 末光 大和

大久保 礼子 先生選

特選

梅雨寒や迷路なる髪ときほぐす
(評) 季語「梅雨寒」を取り合わせることで、髪を整える憂鬱感の他にも「迷路」を感じることがあるのかと想像させる句です。

優秀

ほじよりんをはずしてちょうちょおいかける
タやけにうたれて赤いかえりみち
夏来るガシヤンガシヤンと工事なり

道後小2 矢野恵莉香
吉岡小2 近藤 花帆
金生第一小5 石川 航大

佳作

ほそながいへちまがいつこがっこうえん
夏の夕かげで見つかるかくれんぼ
つるつるのなすのみ一つチョコッキンと
夏まつりいちがさんこで大あたり
かえりみちバツタみつけてにげられて
ちようこくの木くずとびちる秋の風
夕すずみひさしぶりだねママのひざ
歌声を遠くにとばす秋の雲
ふりぬいた母のボールに秋の風
目にしみる汗をぬぐってシャトル追う
妹の手の冷たさに目が覚める
にゆるりんと大きいうなぎにまつしぐら
秋の雲ちぎれちぎれてなくなりぬ
手開きの鯛今夜はフライ盛り
四回目寝返りばかりの熱帯夜

たちばな小1 石丸 結望
仕七川小2 滝野 凱斗
立岩小2 高橋奈名里
味酒小2 持田 育
石井小2 崎田 絢音
東谷小4 宇高 来郁
松山市小4 倉増 愛
久枝小5 上田 希帆
中山小5 武田 孟司
荏原小5 池田 英慈
近見小6 湯浅 維月
面河小6 中川虎太郎
小野中1 山中 魁祐
垣生中2 岡田 詞恩
三津浜中3 中村 優

令和4年度 第50回俳句募集応募状況

ジュニアの部				一般の部	
市町	校種	校数	応募数	市町	人数
四国中央市	小	1	45	新居浜市	3
新居浜市	小	9	13	西条市	1
西条市	小	1	103	今治市	3
今治市	小	5	37	松山市	34
今治市	中	2	16	東温市	3
松山市	小	18	854	伊予市	5
松山市	中	3	81	松前町	1
東温市	小	3	68	大洲市	1
東温市	中	2	30	八幡浜市	1
伊予市	小	1	36		
砥部町	小	1	20		
久万高原町	小	2	16		
大洲市	小	1	4		
八幡浜市	小	1	3		
八幡浜市	中	2	80		
鬼北町	小	1	29		
合計		53	1,435	合計	52